

⑤ 教育・文化分野

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

政策1	未来を切り拓く人材の育成と環境の整備	p.64
	施策1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実	p.64
	施策2 子どもに応じた支援の充実	p.66
	施策3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上	p.67
政策2	豊かな人生を送るための学習機会の提供	p.68
	施策1 生涯学習環境の充実	p.68
	施策2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	p.69
政策3	魅力あふれる文化の創造と継承	p.70
	施策1 多彩な文化芸術の創造と活動支援	p.70
	施策2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	p.71
政策4	スポーツを軸としたまちづくりの推進	p.72
	施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	p.72
	施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進	p.73
政策5	国際交流・多文化共生の推進	p.74
	施策1 国際交流活動の推進	p.74
	施策2 多文化共生の推進	p.75

政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

【担当部局】教育委員会、こども未来部

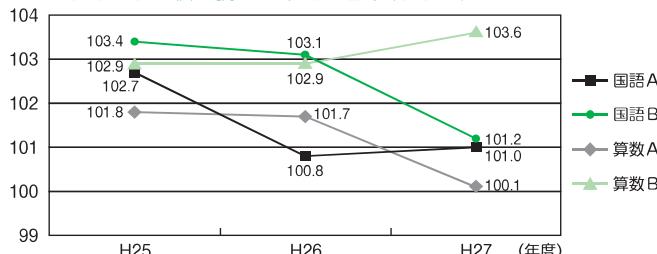
施策1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実

学校教育課

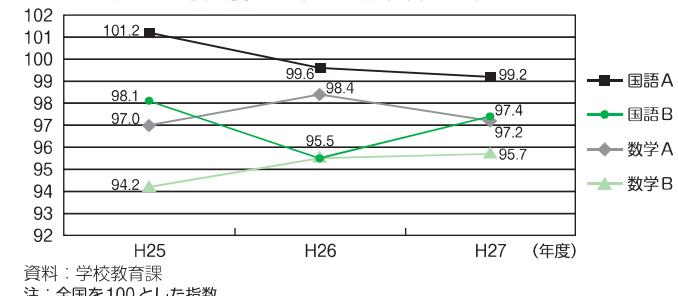
現況と課題

- ◆目標に向かって努力を継続できる力や自己をコントロールする力に秀でた児童・生徒が育っている一方で、知識・理解や思考力などの学力は、中学生になると全国平均を下回っています。また、体力は学年が上がるにつれて全国平均を下回る種目が多い傾向にあります。子どもの学力・体力だけでなく、意欲や態度などテストで計ることのできない資質や能力をバランスよく伸ばせるよう、更に教育を充実する必要があります。
- ◆国において小学校から中学校までの義務教育を行う「義務教育学校[※]」が新設されたことなどから、今後の学校のあり方を含め、学校教育制度の多様化・弾力化を検討する必要があります。

■ 全国学力・学習状況調査の平均正答率(小学生)



■ 全国学力・学習状況調査の平均正答率(中学生)



目指す状態

子どもが社会でたくましく生きていくために必要な学力・体力を身に付け、人間性豊かに成長している。

主な取組

- ◎子どもの学力・体力の向上と、健康の保持・増進に取り組みます。(学校教育課、保育・幼稚園課、保健給食課)
- ◎園児・児童・生徒の交流、小・中学校の連携や一貫した教育、中高一貫校の設置など、学校種間(幼保小中高)の連携を推進するとともに、今後の学校づくりのあり方について検討します。(学校教育課、保育・幼稚園課)(2-1-2関連)
- ◎乳幼児期における教育・保育の質の向上に取り組みます。(保育・幼稚園課)(2-1-2関連)
- ◎社会の変化に対応でき、地域への関心を高める教育を推進します。また、社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成します。(学校教育課)
- ◎教職員の力量向上に取り組みます。(学校教育課)
- ◎長野県立大学(仮称)等高等教育機関の教育環境の充実に向けて支援するとともに、連携による地域の発展と人材育成に取り組みます。(企画課、教育委員会総務課)

※ 義務教育学校……………学校教育法等の一部を改正する法律により新設された、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校の種類のこと。

アンケート指標(市民が思う割合)

環境や体制に関する評価

回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ 子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われている	41.2%	↗
● (設定なし)		

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標																																
全国学力・学習状況調査における国語、算数、数学の平均正答率	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 6 年生(国語、算数) ・中学校 3 年生(国語、数学) <p>について、それぞれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A 問題(主に知識・技能) ・B 問題(主に活用、思考力・判断力・表現力) <p>の平均正答率(全国を 100 とした指数)</p>	<p>小学生</p> <table> <tr><td>国語 A</td><td>101.0</td></tr> <tr><td>国語 B</td><td>101.2</td></tr> <tr><td>算数 A</td><td>100.1</td></tr> <tr><td>算数 B</td><td>103.6</td></tr> </table> <p>中学生</p> <table> <tr><td>国語 A</td><td>99.2</td></tr> <tr><td>国語 B</td><td>97.4</td></tr> <tr><td>算数 A</td><td>97.2</td></tr> <tr><td>算数 B</td><td>95.7</td></tr> </table>	国語 A	101.0	国語 B	101.2	算数 A	100.1	算数 B	103.6	国語 A	99.2	国語 B	97.4	算数 A	97.2	算数 B	95.7	<p>小学生</p> <table> <tr><td>国語 A</td><td>103</td></tr> <tr><td>国語 B</td><td>103</td></tr> <tr><td>算数 A</td><td>102</td></tr> <tr><td>算数 B</td><td>104</td></tr> </table> <p>中学生</p> <table> <tr><td>国語 A</td><td>100</td></tr> <tr><td>国語 B</td><td>100</td></tr> <tr><td>数学 A</td><td>100</td></tr> <tr><td>数学 B</td><td>100</td></tr> </table>	国語 A	103	国語 B	103	算数 A	102	算数 B	104	国語 A	100	国語 B	100	数学 A	100	数学 B	100
国語 A	101.0																																		
国語 B	101.2																																		
算数 A	100.1																																		
算数 B	103.6																																		
国語 A	99.2																																		
国語 B	97.4																																		
算数 A	97.2																																		
算数 B	95.7																																		
国語 A	103																																		
国語 B	103																																		
算数 A	102																																		
算数 B	104																																		
国語 A	100																																		
国語 B	100																																		
数学 A	100																																		
数学 B	100																																		
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均値を上回った種目数	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 5 年生(8 種目) ・中学校 2 年生(9 種目) <p>について、全国平均値を上回った種目数</p>	<p>小学生</p> <table> <tr><td>男子</td><td>5 種目</td></tr> <tr><td>女子</td><td>5 種目</td></tr> </table> <p>中学生</p> <table> <tr><td>男子</td><td>3 種目</td></tr> <tr><td>女子</td><td>4 種目</td></tr> </table>	男子	5 種目	女子	5 種目	男子	3 種目	女子	4 種目	<p>小学生</p> <table> <tr><td>男子</td><td>6 種目</td></tr> <tr><td>女子</td><td>6 種目</td></tr> </table> <p>中学生</p> <table> <tr><td>男子</td><td>4 種目</td></tr> <tr><td>女子</td><td>5 種目</td></tr> </table>	男子	6 種目	女子	6 種目	男子	4 種目	女子	5 種目																
男子	5 種目																																		
女子	5 種目																																		
男子	3 種目																																		
女子	4 種目																																		
男子	6 種目																																		
女子	6 種目																																		
男子	4 種目																																		
女子	5 種目																																		

個別計画 第二次長野市教育振興基本計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針

施策2

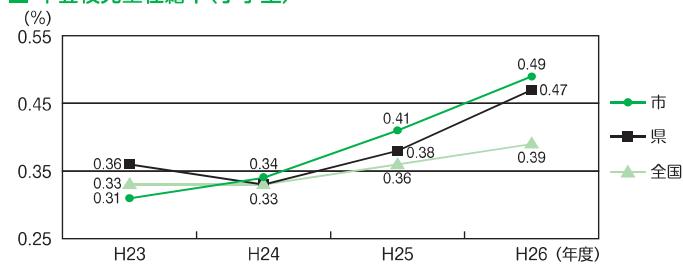
子どもに応じた支援の充実

学校教育課

現況と課題

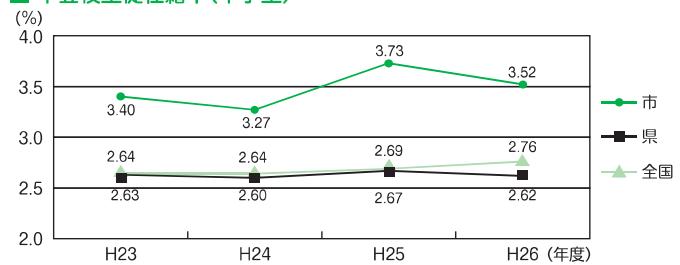
- ◆学校評価アンケートによると、児童・生徒の8割以上が学校は楽しく安心できる場所だと感じている一方で、不登校児童・生徒の在籍比は全国や県と比べると高い状態が続いている。引き続き、関係機関との連携を強化して、不登校やいじめの未然防止などの対策を講じる必要があります。

■ 不登校児童在籍率(小学生)



資料：学校教育課

■ 不登校生徒在籍率(中学生)



資料：学校教育課

目指す状態

不登校やいじめに悩む子ども、障害のある子ども、社会的援助を必要とする子どもなど、子どもに応じた適切な支援の下、安心して学習に取り組んでいる。

主な取組

- ◎不登校やいじめの未然防止に取り組むとともに、子どもや保護者に対する支援体制を充実します。(学校教育課)
 - ◎いじめのない安心な学校づくりを推進します。(学校教育課)
 - ◎障害のある子どもや社会的援助を必要とする子どもを支援します。
- (子育て支援課、教育委員会総務課、学校教育課、障害福祉課、生活支援課) (2-1-3、2-3-1 関連)

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価

回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
□ 子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている □ (設定なし)	41.0%	↗

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
不登校児童・生徒の学校復帰率	不登校児童・生徒(年間の欠席30日以上)への指導の結果、登校するまたはできるようになった児童・生徒の割合	小学生 47.4% 中学生 35.3%	毎年度、国の不登校児童・生徒の学校復帰率の数値を上回る

個別計画 第二次長野市教育振興基本計画、いじめ防止等のための基本的な方針、長野市子ども・子育て支援事業計画

施策3

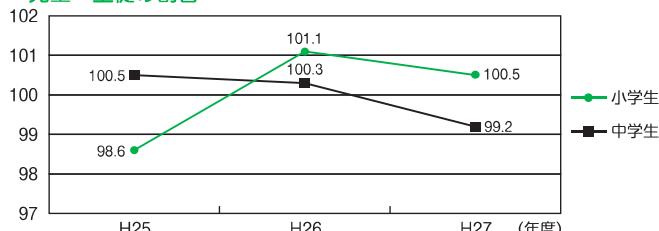
家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上

家庭・地域学びの課

現況と課題

◆全国学力・学習状況調査の質問項目で「家の人と学校での出来事について話している」と回答した児童・生徒の割合は全国平均とほぼ同じです。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合は全国と比べて大きく上回っています。引き続き、子どもを健やかに育むために、学びや育ちを支えていく必要があります。

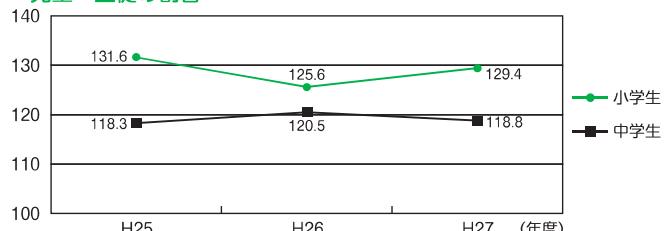
■「家の人と学校での出来事について話している」と回答した児童・生徒の割合



資料：学校教育課（「全国学力・学習状況調査」の質問項目）

注：全国を100とした指標

■「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童・生徒の割合



資料：学校教育課（「全国学力・学習状況調査」の質問項目）

注：全国を100とした指標

目標すすめ

家庭・地域・学校が相互連携により教育力を向上し、子どもの学びや育ちを支えている。

主な取組

- ◎親子が共に学び成長する力の向上につながる取組を推進します。(家庭・地域学びの課、健康課)(2-1-2関連)
- ◎地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支える取組を推進します。(家庭・地域学びの課、学校教育課)
- ◎放課後などに子どもが安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができる環境を充実します。(こども政策課)(2-1-1関連)

アンケート指標(市民が思う割合)

環境や体制に関する評価

回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	49.7%	↗
地域の子どもにあいさつや声かけをしている	71.2%	↗

統計指標(統計による指標)

指標名	内容	現状値	目標
家の人と学校での出来事について話をしている児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果 (全国を100とした指標)	小学生 100.5 中学生 99.2	小学生 101.2 中学生 100.6
住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果 (全国を100とした指標)	小学生 129.4 中学生 118.8	小学生 131.7 中学生 120.6

個別計画

第二次長野市教育振興基本計画、長野市子ども・子育て支援事業計画

政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

【担当部局】教育委員会

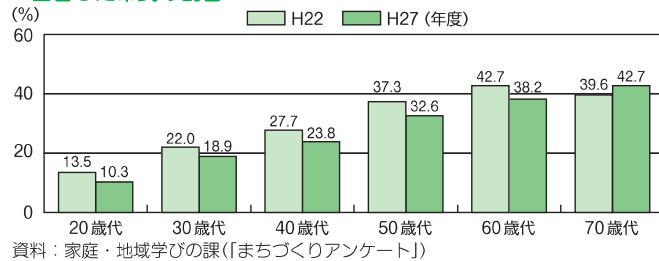
施策1 生涯学習環境の充実

家庭・地域学びの課

現況と課題

- ◆生涯学習センターや公民館^{*}を利用して生涯学習に取り組む若い世代が少ないことから、これらの世代が利用しやすいよう、講座や施設の周知、内容の充実、施設運営などを検討する必要があります。

■「生涯学習活動に公民館や生涯学習センターを利用する」と回答した市民の割合



目指す状態

ライフステージに応じた学びの機会が提供され、多くの市民が学びを実践している。

主な取組

- ◎多様なニーズに対応した講座を充実します。（家庭・地域学びの課）
- ◎利用しやすい生涯学習施設や図書館の運営を推進します。（家庭・地域学びの課）
- ◎生涯学習に関する情報を適切に提供します。（家庭・地域学びの課）

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 ■ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ 公民館などで、学びの機会が提供されている	52.0%	↗
■ 公民館などで提供されている学びの場に参加している	26.8%	↗

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
若い世代を中心に構成される団体が市立公民館を利用した割合	市立公民館を利用する全団体のうち、20歳代～40歳代中心で構成されている団体が市立公民館を利用した割合	9.9%	11.0%

個別計画 第二次長野市教育振興基本計画、第二次長野市生涯学習推進計画、長野市立図書館基本計画

* 公民館……………社会教育の主要な施設。市立公民館は、成人学校や各種学校・講座を開催しているほか、サークルなどに貸館を行っている。その他、地域住民が設置・運営している地域公民館は、地域の拠点として住民が自主的な活動に取り組んでいる。

施策2

学習成果を活かした地域づくりへの参加促進

家庭・地域学びの課

現況と課題

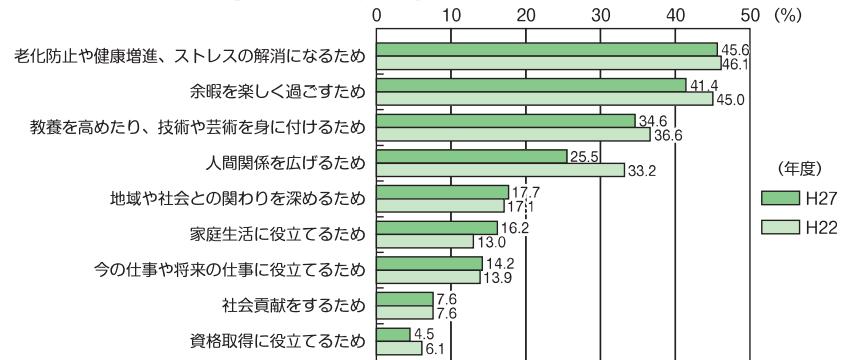
- ◆生涯学習が住民主体の地域づくりにつながることから、市立公民館の指定管理者制度※の導入を受託可能な住民自治協議会から進めています。公民館活動を更に活発化し、市民が生涯学習を通じて充実感を得られ、地域づくりに活かせるよう支援する必要があります。

■ 指定管理者制度を導入した市立公民館

	H26	H27	H28
市立公民館	長沼	芋井 篠ノ井 信更	若槻 更北

資料：家庭・地域学びの課

■ 「生涯学習活動の目的」についての市民意識



資料：家庭・地域学びの課（「まちづくりアンケート」）

目指す状態

市民が市立公民館などの学びの成果を、地域づくりに活かしている。

主な取組

- ◎地域づくりにつながる学習を支援します。（家庭・地域学びの課）
- ◎学習成果を発表する場と活用する仕組みを充実します。（家庭・地域学びの課）
- ◎市民による講座の企画・運営を支援します。（家庭・地域学びの課）

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 ■ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ 公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	50.8%	↗
■ 公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	19.2%	↗

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
市立公民館の講座における地域住民が講師を務めた講座の割合	市立公民館の講座のうち、当該地区住民が講師を務めた講座の割合	37.2%	38.5%

個別計画 第二次長野市教育振興基本計画、第二次長野市生涯学習推進計画

※ 指定管理者制度……………公の施設の管理運営を市が指定した民間事業者が請け負う制度のこと。民間の効果的・効率的な手法の活用により、経費の削減や利用者に対するサービスの向上が見込まれる。

政策3 魅力あふれる文化の創造と継承

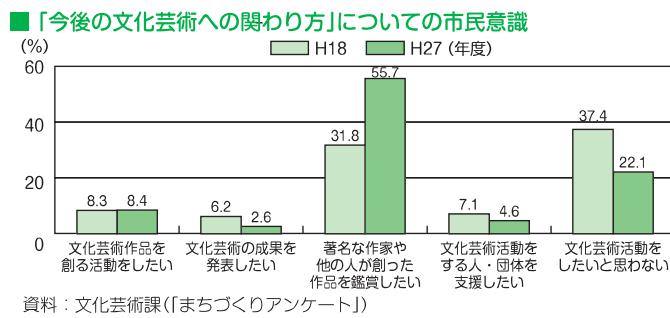
【担当部局】文化スポーツ振興部、教育委員会

施策1 多彩な文化芸術の創造と活動支援

文化芸術課

現況と課題

- ◆市民の文化芸術活動が盛んで、伝統芸能や野外彫刻が数多くあります。また、文化芸術活動の拠点となる長野市芸術館が開館してからは、鑑賞や発表の場が充実し、市民の関心も高まっています。この機運を継続し、より多くの市民が文化芸術に親しめる機会の提供と環境づくりを進める必要があります。



目指す状態

だれもが気軽に音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる。

主な取組

- ◎長野市芸術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供します。（文化芸術課）
- ◎市民の自主的・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちにぎわいにつながる発表の機会を充実します。（文化芸術課）
- ◎子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動を支援します。（文化芸術課）
- ◎交流が広がる魅力ある文化芸術公演やイベントを企画・創造します。（文化芸術課）

アンケート指標(市民が思う割合)

■環境や体制に関する評価 ■回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	40.7%	↗
音楽、美術、演劇など文化芸術に親しんでいる	39.4%	↗

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
市有ホール施設の利用者数	長野市芸術館、東部文化ホール、篠ノ井市民会館、松代文化ホール、勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホール、中条音楽堂の利用者数 注：長野市芸術館は平成28年5月から、篠ノ井市民会館は平成29年2月までの利用者数	277,372人	535,000人

個別計画 第二次長野市文化芸術振興計画

施策2

文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

文化財課

現況と課題

- ◆指定文化財をはじめとする有形・無形の歴史・文化遺産があり、観光資源や地域住民のよりどころとして保存・継承されています。引き続き、指定文化財などの保存と活用を進めるとともに、適切に継承されるよう担い手の確保などを支援する必要があります。

■ 国・県・市指定等の文化財件数

(平成28年5月1日現在)

	種別	件数	内容
国指定	国宝	1	建造物 1
	重要文化財	30	絵画 2、彫刻 15、工芸品 3、書跡 2、歴史資料 1、建造物 7
	記念物	7	史跡 6、天然記念物 1
国選択	民俗資料	1	無形民俗文化財 1
国認定	重要美術品	6	絵画 2、工芸品 2、彫刻 1、書跡 1
国登録	有形文化財	52	建造物 52箇所(120棟)
	記念物	7	名勝地 7
県指定	県宝	28	彫刻 5、絵画 2、工芸品 7、建造物 11、考古資料 1、書跡 2
	無形民俗文化財	3	無形民俗文化財 3
	記念物	22	史跡 5、名勝 1、天然記念物 16
市指定	有形文化財	141	書跡 2、文書 10、彫刻 30、絵画 8、工芸品 15、考古資料 12、歴史資料 3、建造物 61
	無形文化財	7	無形文化財 7
	有形民俗文化財	14	有形民俗文化財 14
	無形民俗文化財	10	無形民俗文化財 10
	記念物	119	史跡 46、名勝 3、天然記念物 69、名勝・天然記念物 1
	市選択	8	選択無形民俗文化財 8
市選定	保存技術	1	保存技術 1
	合計	457	

資料：文化財課

目指す状態

指定文化財などが適切に保存・継承・活用され、魅力ある地域づくりにつながっている。

主な取組

- ◎指定文化財などを調査・整備し、博物館での展示や史跡の公開を進めます。(文化財課)
- ◎伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体の活動を支援します。(文化芸術課)
- ◎重要伝統的建造物群保存地区※をはじめ、歴史的なまちなみなどの環境を保存・活用します。(都市政策課、文化財課)(7-1-4 関連)
- ◎歴史・文化遺産を活かし、観光との連携を推進します。(文化財課、観光振興課)
- ◎歴史・文化遺産の保護に関わる団体を育成し、活動を支援します。(文化財課)

アンケート指標(市民が思う割合)

環境や体制に関する評価

回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ 地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	51.0%	△
■ 地域の伝統的な行事に参加している	38.5%	△

統計指標(統計による指標)

指標名	内容	現状値	目標
文化財保護活動参加者数	指定文化財の保護に当たっている市民団体の構成員で活動に参加した人数	5,537人	5,800人

個別計画 第二次長野市教育振興基本計画、第二次長野市文化芸術振興計画、長野市歴史的風致維持向上計画

※ 重要伝統的建造物群保存地区…城下町、門前町など歴史的な集落やまちなみの保存のために市町村が決定した伝統的建造物群保存地区のうち、我が国にとってその価値が特に高いものとして文部科学大臣が選定した地区のこと。

政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

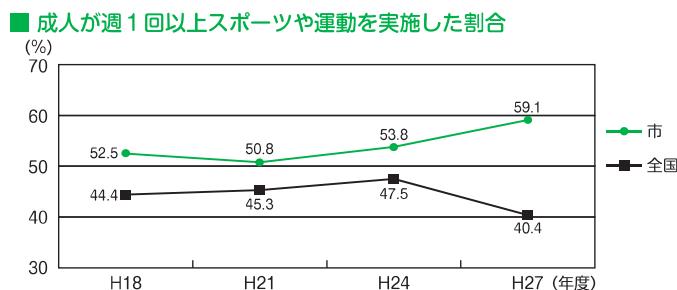
【担当部局】文化スポーツ振興部

施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

スポーツ課

現況と課題

- ◆成人のスポーツ実施率は増加しており、全国に比べると高い状態にあります。近年、医療費の抑制や健康寿命延伸の観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されており、仕事や家事、育児で忙しい世代や高齢者がスポーツを身近に感じ、楽しめる環境を整備する必要があります。



資料：スポーツ課（「まちづくりアンケート」）、内閣府、文部科学省（「体力・スポーツに関する世論調査（平成24年度まで）」）、内閣府（「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査（平成27年度）」）に基づく文部科学省推計

目指す状態

気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

主な取組

- ◎スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸につながる取組を推進します。（スポーツ課、健康課）（2-4-1関連）
- ◎総合型地域スポーツクラブ※やスポーツ推進委員の育成・活用など、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。（スポーツ課）
- ◎障害者のスポーツ参加の機会拡大やだれもが使いやすい環境づくりを推進します。（障害福祉課、スポーツ課）
- ◎競技力の向上と競技者の底辺拡大を推進します。（スポーツ課）
- ◎スポーツ施設のあり方を検討しながら、計画的に整備・改修します。（スポーツ課）

アンケート指標(市民が思う割合)

■環境や体制に関する評価

●回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている ● (設定なし)	54.8%	↗

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
スポーツ実施率	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.1%	65.0%

個別計画 第二次長野市スポーツ推進計画、ながの健やかプラン21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）、長野市障害者基本計画

※ 総合型地域スポーツクラブ…身近な生活圏である中学校区程度の地域において、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、年代・性別・技術レベルに関係なくだれもが気軽に参加できる地域住民が主体的に運営するスポーツクラブのこと。

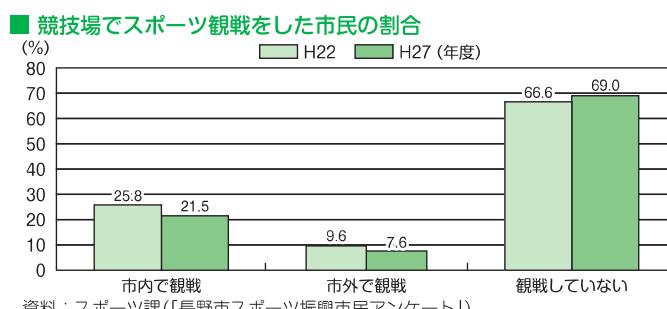
施策2

スポーツを通じた交流拡大の推進

スポーツ課

現況と課題

◆大規模スポーツ施設が充実しており、プロスポーツや国際大会・全国大会などの各種競技大会が開かれているものの、市内のスポーツ施設で観戦する市民の割合は約2割となっています。引き続き、国際大会などの誘致・開催や地域密着型プロスポーツチーム※の支援を通じ、「見る」「支える」「交流する」などスポーツとの新たな関わり方や楽しみを広げていく必要があります。



目指す状態

多くの市民が市内のスポーツ施設で観戦し、スポーツを通じた交流人口が拡大している。

主な取組

- ◎大規模スポーツ施設を活用した国際大会や全国大会などを誘致・開催します。(スポーツ課、観光振興課)(6-1-3関連)
- ◎長野マラソンや全国中学校スケート大会の継続開催など、宿泊滞在型のスポーツイベントを支援します。(スポーツ課、観光振興課)
- ◎地域密着型プロスポーツチームの活動を支援します。(スポーツ課)
- ◎オリンピックムーブメント※を継続的に推進します。(スポーツ課、観光振興課)

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 ■ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	35.1%	↗
■ 市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	22.8%	↗

統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
南長野運動公園総合球技場入場者数	スポーツの観戦、イベント等の入場者数	171,228人	251,500人

個別計画 第二次長野市スポーツ推進計画、長野市観光振興計画

※ 地域密着型プロスポーツチーム…地域を拠点とし、株式会社などの経営体が運営するプロスポーツチームで、試合での活躍や試合以外でのイベントへの参加など地域と密着して活動し、地域住民はチームの応援や会員となるなどサポートを行う。このような関係を保ちながら活動することで、ファンを獲得し観客数増加につなげるとともに、地域のスポーツ振興や地域活性化に寄与する効果がある。

※ オリンピックムーブメント…いかなる差別もなく、友好、連帯、フェアプレーの精神をもって、相互理解を推進する「オリンピック精神」に基づき、スポーツを通じて青少年を育成することにより、平和でより良い世界を建設し、国際親善に貢献しようすること。

政策5 国際交流・多文化共生の推進

【担当部局】企画政策部、教育委員会

施策1 国際交流活動の推進

秘書課

現況と課題

- ◆姉妹都市・友好都市※などとの交流のほか、市民団体による地域に根ざした国際交流などの活動促進にも取り組んでいます。更に多くの市民が事業の参加や活動に関わり国際交流を底上げできるよう、活動を推進するとともに支援を拡充する必要があります。

■姉妹都市・友好都市との交流実績

(年度)

		H23以前	H24	H25	H26	H27	合計
姉妹都市(クリアウォーター市)	受入	77団475人	2団15人	1団2人	3団18人	5団39人	88団549人
	派遣	100団764人	2団15人	2団15人	4団68人	2団14人	110団876人
友好都市(石家庄市)	受入	110団829人	2団9人	1団3人	2団26人	3団27人	118団894人
	派遣	69団866人	1団50人	なし	1団14人	1団14人	72団944人

資料：秘書課

目指す状態

多くの市民が国際交流に関心を持ち、国際交流事業に参加し、活動に関わっている。

主な取組

- ◎姉妹都市・友好都市などとの国際交流活動を推進します。(秘書課、学校教育課)
- ◎市民主体の国際交流活動を支援・促進します。(秘書課)
- ◎国際交流員※などを派遣し学校や地域との交流を推進します。(秘書課)

アンケート指標(市民が思う割合)

環境や体制に関する評価

回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
国際交流が盛んに行われている	12.6%	↗
国際交流イベントに参加している	5.2%	↗

統計指標(統計による指標)

指標名	内容	現状値	目標
国際交流事業件数	市の国際交流事業補助金を活用し、市民団体が主催した国際交流イベントや留学生との交流事業などの件数	7件	13件

個別計画

第二次長野市教育振興基本計画

* 姉妹都市・友好都市…………文化交流や親善を目的として結びつきをもつ都市のこと。表記の違いはあるが、同様の交流事業を行う。昭和34(1959)年3月にアメリカ合衆国フロリダ州にあるクリアウォーター市と姉妹都市の提携をした。昭和56(1981)年4月に中華人民共和国河北省にある石家庄市と友好都市の締結をした。

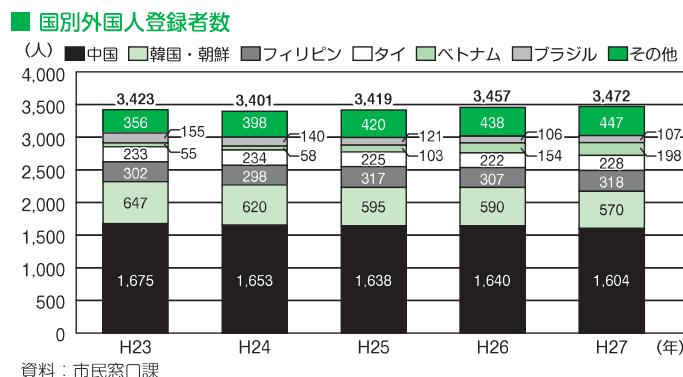
* 国際交流員……………総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会の協力の下、地方自治体が外国青年を招致する事業を通じて、地域での国際交流推進のために勤務する特別職の地方公務員のこと。

施策2 多文化共生の推進

秘書課

現況と課題

- ◆外国人住民数は3,000人台を推移しています。今後、国際化が進展する中、文化や価値観の違いを受け入れ、相互理解を深め、外国人が暮らしやすく共生できる環境を整備する必要があります。



目標状態

文化や習慣などが異なる外国人にとっても、暮らしやすい環境が整っている。

主な取組

- ◎異なる文化や習慣などへの相互理解と共生意識の醸成を促進します。(秘書課・人権・男女共同参画課)
- ◎外国人の日常生活や学校生活などに対する支援体制を充実します。(秘書課・学校教育課)

アンケート指標(市民が思う割合)

■ 環境や体制に関する評価 ●回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
■ (設定なし)		
● 外国の文化や習慣を理解しようと努めている	31.0%	↗

統計指標(統計による指標)

指標名	内容	現状値	目標
国際交流コーナーの利用者数	国際交流コーナーで開催している日本語教室の受講者、母語相談やイベントなどで訪れた人数	8,909人	9,200人
SNS*のフォロワー*数	長野市国際交流フェイスブック等のSNSに対してフォローしている数	449人	800人

個別計画 第二次長野市教育振興基本計画、長野市人権政策推進基本方針

* SNS…………… Social Networking Service の略。インターネット上で友人を紹介し合い、個人間の交流を支援するサービスのこと。
 * フォロワー…………… SNSにおいて、他のユーザーの投稿を自分の専用ページで閲覧できるように設定しているユーザーのこと。